



## 天体ニュース



### 夜明け前の東の空で

### 月や惑星を楽しもう！

2月初旬、南東の夜明けの空には、木星やさそり座のアンタレスの近くに火星、いて座の南斗六星の近くに土星が見え、3つの惑星が並んで、空はとても華やかです。

この3つの惑星に、月が次々と接近します。まだ、明るくなるのが遅いこの時期、少し早起きをして、夜明け前の月や惑星を楽しむのもいいですね！



## プラネタリウム 冬番組 『冬のダイヤモンド』

〈内 容〉

冬の夜空は、明るい1等星が多く、色々な色の星や、肉眼でも見える星雲や星団を見ることができる1年で一番美しい夜空です。

上空の空気の流れが強く星がキラキラ瞬いてみえます。

6つの1等星、おおいぬ座のシリウス、オリオン座のリゲル、おうし座のアルデバラン、ぎょしゃ座のカペラ、ふたご座のポルクス、こいぬ座のプロキオンを結んでできる六角形を冬のダイヤモンド（冬の大六角形）といいます。

また、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオン、オリオン座のベテルギウスを結んでできる3角形は冬の大三角です。

このほかにも、冬の星や星座を紹介します。

〈投影日時〉

曜日	投影開始時間		
土・日	午前11時00分	午後1時30分	午後4時00分

## 今月の星座紹介

### 【こいぬ座】



「こいぬ座」は、名前のおり小さな星座です。クリーム色の1等星プロキオンがあり見つけやすい星座ですが、それ以外の星は暗いのでイヌの姿を想像するのは少し難しいです。

プロキオンは「犬の前に」という意味があり、これは「おおいぬ座」の1等星シリウスより先に上ってくるという意味でつけられました。シリウスはかつて、季節を知るうえでたいへん重要視された星で、その出現を先駆けて知らせてくれるプロキオンも大切な星でした。